

	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	OECDが実施する地球規模課題の解決に向けた取組への拠出			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際戦略担当)付		参事官(国際戦略担当) 大土井 智
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)		
政策	政策目標7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費		
施策	施策目標7-3 科学技術の国際活動の戦略的推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20200930-mxt_kanseisk02-000010162_01.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図る「国際機関への拠出等」のうち、当事業は、経済協力開発機構(OECD)科学技術政策委員会(CSTP)の作業部会の一つであるグローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)において、地球規模課題の解決に向けた科学技術面の取組を推進することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	国際的な協議・協力によって解決を図ることが求められる地球規模課題に対し、科学技術面から対応するために、GSFが実施する事業の推進に必要な経費を拠出する。地球規模課題の解決に向け、より積極的に参画・主導し、OECD加盟国内での我が国のプレゼンスの維持・向上を図っていくことが必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	GSFは、地球規模課題の科学技術面からの解決に向けて、先進国と途上国の科学技術協力のあり方等について調査分析を実施しており、本事業ではGSFと協力しながら各国が実施する地球規模課題の解決に向けた施策を比較し、我が国が実施する国際共同研究を戦略的に行うための調査、情報交換、情報分析を実施する。						
事業概要URL	https://www.oecd.org/sti/inno/global-science-forum.htm						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	24	24	25	27	27
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	24	24	25	27	27	
	執行額(G)		24	24	25		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	100%	100%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・学術政策推進費					
	(目)	経済協力開発機構拠出金	27	27			
		その他					
	計(A)		27	27			

活動内容① (アクティビティ)		地球規模課題の科学技術面からの解決に向けて、GSFにおいて、先進国と途上国の科学技術協力のあり方等に関する調査分析等を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		OECD/GSFの意思決定における日本のプレゼン ス向上、我が国の人材知見、専門性を通じた議 論へ積極的に参画する。	OECD/GSF室の全職員数に占める 邦人職員数割合(計算式:邦人職員 数／全職員数)	活動実績	%	25	25	25	25	－	
				当初見込み	%	20	20	20	25	25	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	GSF事務局では、GSFが実施する各プロジェクトの進捗管理、専門家会合等の調整といった全体管理を行っており、GSF事務局に邦人職員がいることで、プロジェ クトの理解が深められ、より円滑に効果的な調整が可能になり、GSFのプロジェクトへの積極的な参加に繋げていくため、GSFが実施するプロジェクトに我が国が主 体的に参加する数を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		OECD/GSFが実施するプロジェクトに 積極的に参画する。	OECD/GSFが実施するプロ ジェクトについて、我が国が主 体的に参画する数(目標値: 直近3年間の平均)	成果実績	件	7	6	4	6		
				目標値	件	6	6	6	6		
				達成度	%	116.7	100	66.7	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		GSF活動実績(文部科学省集計による)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	GSFでは、プロジェクトの進捗に応じて2年程度かけ、ワークショップの開催による議論深化や各国の事例収集等が行われるとともに、GSF定期会合での議論が実 施され、その結果が成果物として最終報告書にまとめられる。特に、GSF事務局に邦人職員がいることで、我が国の主体的なプロジェクトの参加が可能となってい る。このため、主体的に参画し、対外的活動の成果物として対外的に発信した政策レポート等数を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		OECD/GSFにおける、様々な活動成果 を我が国の科学技術政策の立案に活 用するため、調査分析結果を得る。	OECD/GSFが活動成果につ いて、主体的に参画し、対外 的活動の成果物として対外的 に発信した政策レポート等数	成果実績	件	3	1	1	2		
				目標値	件	2	2	2	2		
				達成度	%	150	50	50	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		GSF活動実績(文部科学省集計による) ※各プロジェクトは2年単位で設定されているため、政策レポート等の数が著しく少ない場合がある。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容② (アクティビティ)		地球規模課題の科学技術面からの解決に向けて、OECDと協力しながら各国が実施する地球規模課題の解決に向けた施策を比較し、我が国が実施する国際共同研究を戦略的に行うための調査、情報交換、情報分析を実施するにあたって、OECD/GSFビューロとして日本人を登録する。									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		OECD/GSFの意思決定における日本のプレゼンスの向上、我が国の人材の知見、専門性を通じた議論へ積極的に参画する。	OECD/GSFビューロ(議長あるいは副議長)の日本人登録数	活動実績	人	1	1	1	1	-	
				当初見込み	人	1	1	1	1	1	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	GSFが活動を実施するうえで、GSF事務局のほか、議長・副議長により構成されるGSFビューロが組織される。ビューロは事務局と協力し、GSFの活動を実施するにあたって議論を行い、GSFの活動の方向性を決定するうえで重要な役割を担っている。そのため、ビューロに邦人が含まれることで、事務局との事前調整等が可能になり、プロジェクトに積極的に参画することが可能になることから、我が国が主体的に参画するプロジェクト数を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		OECD/GSFが実施するプロジェクトに積極的に参画する。	OECD/GSFが実施するプロジェクトについて、我が国が主体的に参画する数(目標値:直近3年間の平均)	成果実績	件	7	6	4	6		
				目標値	件	6	6	6	6		
				達成度	%	116.7	100	66.7	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		GSF活動実績(文部科学省集計による)									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	GSFでは、プロジェクトの進捗に応じて2年程度かけ、ワークショップの開催による議論深化や各国の事例収集等が行われるとともに、GSF定期会合での議論が実施され、その結果が成果物として最終報告書にまとめられる。特に、ビューロに邦人が担うことで、我が国の主体的なプロジェクトの参加が可能となっている。このため、主体的に参画し、対外的活動の成果物として対外的に発信した政策レポート等数を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		OECD/GSFにおける、様々な活動成果を我が国の科学技術政策の立案に活用するため、調査分析結果を得る。	OECD/GSFが活動成果について、主体的に参画し、対外的活動の成果物として対外的に発信した政策レポート等数	成果実績	件	3	1	1	2		
				目標値	件	2	2	2	2		
				達成度	%	150	50	50	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		GSF活動実績(文部科学省集計による) ※各プロジェクトは2年単位で設定されているため、政策レポート等の数が著しく少ない場合がある。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位: 百万円)

文部科学省  
(25百万円)

国際的な協議・協力によって解決を図ることが求められる地球規模課題に対し、科学技術面から対応するために、OECDが実施する事業の推進に必要な経費を拠出。



〔拠出〕

【A】経済協力開発機構(OECD)  
(25百万円)

地球温暖化やエネルギー問題など地球規模課題の科学技術面からの解決等に向けて、先進国と途上国の科学技術協力のあり方について調査、情報交換、情報分析を実施。

